

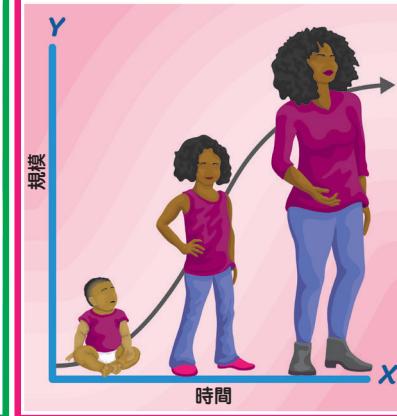
システム思考家の習慣

2020年版

全体像を理解しようと努める



時間の経過とともに、システム内の要素が、どのように変化し、パターンとトレンドを形成しているかを観察する



課題について充分考え尽くして、すぐに結論を出したいという衝動を抑える



システム構造の理解を活用して、考えるレバッジ行動を特定する



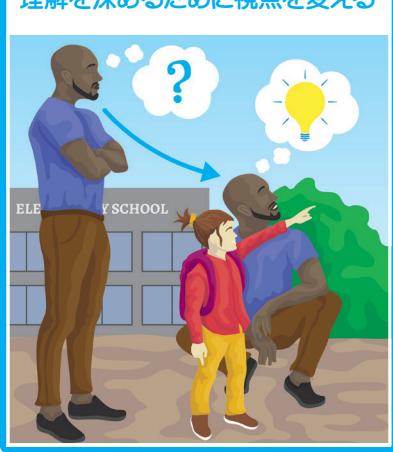
結果を確認し、必要に応じて行動を変える「段階的接近」



前提を明らかにして検証する



理解を深めるために視点を変える



複雑な因果の関係による循環的な性質を特定する



因果関係を探求するとき、時間の遅れの影響を認識する



今の現実や未来に対して、メンタル・モデルがどのように影響を与えるかを考える



システムの構造が挙動を生み出すことを理解する



行動の短期的結果、長期的結果、そして意図しない結果を考慮する



蓄積と変化の速度に注意を払う



提供
Waters Center
For Systems Thinking

翻訳 有限会社チエンジ・エージェント

この作品は、クリエイティブ・コモンズの表示・非営利・改変禁止4.0国際ライセンスで提供されています。ライセンスの詳しい説明には、<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>をご覧ください。

Creative Commons, PO Box 1866, Mountain View, CA 94042, USAまでご連絡ください。

© 2021 Waters Center
for Systems Thinking
WatersCenterST.org



システム内およびシステム間に、意味のあるつながりをつくり出す

